

Seiun

Tezukayama Gakuin Izumigaoka Dousouka

Vol. 31

青 / 雲

Interview 飯田 哲郎 校長
輝く人 4人からのメッセージ
恩師から 永田先生・西元先生
卒業生母校に帰る
ふるさと納税で私立高校を応援!

Club Activity Report 2025

幹事's 同窓生探訪
第12回 帝塚山学院泉ヶ丘同窓会
総会・懇親会
第3回 帝塚山学院泉ヶ丘同窓会
in 東京
同窓会レポート
同窓会幹事総会の報告・会計報告
泉ヶ丘同窓会 組織図
運営費の寄付のお願い
会長挨拶
アドミッションセンターより

インタビュー

聞き手 / 佐用木綿子(国際科3期生)
木曾慎一朗(35期生)

Interview

帝塚山学院泉ヶ丘中学校高等学校 学校長 飯田 哲郎



TETSURO IIDA

今回は、昨年度就任された飯田校長にお話を伺いました。

—— 生徒からの要望で、いろいろなことが変わってきているとお聞きしました

そうなんです。「休みの日にも使える自習室を用意してもらえませんか?」と生徒がお願いに来たのがきっかけで、日曜、祝日、長期休暇中も食堂を自習スペースとして開放することになりました。最近、家だと集中して勉強できないという生徒も増えてきています。

また、中庭に椅子とテーブルを設置したのですが、生徒たちはそこでおしゃべりをしたり、勉強をしたりと自由に活用しています。利用している生徒からは「夕方になると暗くなるから、卓上ライトを置いてほしい」とか、「中庭の木が通行の妨げになっているので移植してほしい」といった要望もありました。一つひとつは小さなことですが、生徒の実感がこもった要望が少しずつ形になってきています。

—— 生徒たちが直接、校長室に来るんですか?

そういうこともありましたが、廊下を歩いていたら「先生、お願いがありま

す!」と声をかけられることもあります(笑)。

もちろん、何でも聞くわけではありません。生徒会があるので、まずは生徒会でみんなで話し合い、そこから話を上げるのが筋ですし、言えばすぐに実現するというものでもありません。

でも、生徒たちの学校なので、できるだけ「やりたいこと」を実現できるようにしてあげたいと思っています。

—— 「生徒たちの学校だから」という言葉に、生徒への愛情が表れているように感じました

今は、上から言われたことをただやる時代ではありません。自分たちで考え、判断し、新しいことを提案しながら行動していく時代です。

社会人になると、例えば一般企業ではプレゼンの機会も多くあります。これは「やりなさい」と言われてすぐにできるものではありません。だからこそ、中高時代からそのような経験を積んでおくことが大切で、大学生活でもきつと生かされると思います。

もちろん、知識がなければ多様なアイデアも出てきません。ですから、勉強はとても大切です。ただ、それだけではなく、社会に出た時に必要な力も身につけておくべきなんです。そういった力を育てるために、3～4年前からPBL(Project Based Learning)学習を取り入れています。

—— 時代の変化に合わせて、校則も見直されているそうですね

そうですね。今は、ジェンダー平等やLGBT、多様性が求められる時代です。そんな中で、男子向け、女子向けと校則が分かれているのはおかしいと思いました。

たとえば、サブバッグが男子は青、女子は赤という決まってしまうこと。セーターの刺繍の色も、男女関係なく同じ色に変更してもいいのではないかと。偏見を持っているのは大人の方で、子どもたちはもっとフラットに見ています。そういったところは、私たち大人が見習わなければいけないと思っています。

—— 何度も「勉強だけではない」というお話が出てきました

もちろん、勉強は大事です。可能性を広げるためにも、勉強ができるに越したことはありません。

でも、それだけでいいわけではない。社会に出て、ひとりで完結する仕事はほとんどありません。だからこそ、協調性・責任感・グローバルな視点など、「総合知」が大切だと思っています。

—— 社会に出て役立つ力を育てる取り組みも、多く行っているとお伺いはい。例えば、中学1年生では「群読」に取り組みます。プロの方を招いて発声指導もしていただいています。

人前に出るのが得意な子はいいのですが、そうでない子もいます。でも社会に出たら、プレゼンや発表など、人前で話す場面がたくさんあります。だからこそ、今のうちからそういった経験を積んでおいてほしいのです。

中学2年生では「調べ学習」を通して、研修旅行先について自分たちで調べ、スケジュールも自分たちで立てます。

自分で考え、自分たちをよりよくしようとする自主性を育てたいと思っています。この自主性は、社会に出たときに必ず役に立つと信じています。

—— 校長先生のお話から、生徒たちの人生をしっかりと考えた教育が行われていることが伝わってきます

“生徒を中心に、親と先生とでサポートしていく” という感覚です。

たとえば、中学3年生の姫路への郊外学習では、新幹線を利用しました。「なぜ近距離の姫路にわざわざ新幹線で?」と思われるかもしれませんが、これは学年の先生方のアイデアなんです。生徒たちに、自分たちで新幹線に乗る経験をさせたいという思いからです。このように、「生徒たちのために何ができるか」をみんなで考えて形にしていける楽しさがあります。



—— 先生になって最初に受け持った生徒との再会のエピソードも印象的でしたやんちゃな子たちでしたよ(笑)。でもね、いたずら一つとっても、いろんなアイデアを出して悪さしていたり、度胸もあるし、いいところもたくさんある。話をしていたら、自分には思いつかないような発想をすることもあって、こちらが学ばされることも多かったです。

卒業生が、学校にいいイメージを持ち続けてくれていることは本当にありがたいです。

特に、女子は同窓会の活動などで学校に戻ってきてくれることが多いですが、男子が来てくれるのは珍しい。だからこそ、余計に嬉しく思います。

—— また、憧れていた先生方についても教えてくださいました

永田先生と澤田先生という、憧れの先生がいらっしゃったので、この学校に来ました。

お二人の先生の姿を見てきたからこそ、「勉強だけではない学校をつくりたい」と思うようになったのかもかもしれません。

最終的には、子どもたちが描いている夢を実現できるように、いろんな形でサポートしてあげたいと思っています。

生徒たちは今、目の志望校合格に目が向いていて、それはそれでいいと思います。でも、その先には長い人生が続いています。ひとりひとりが幸せな人生を歩めるように。この中高という大切な時期に、勉強だけでなく、さまざまな学びを経験してほしいと願っています。PBLで主体性を持った子たちが、将来すごいことをやってくれるかもしれないと思っています。

—— 一貫して感じたのは、『生徒たちへの大きな愛』でした

このインタビューを通じて、飯田校長の子どもたちへの深い愛情と、「皆さんに支えられている」とおっしゃる謙虚なお人柄に触れ、大ファンになりました。子どもたちにとって素晴らしい先生であると同時に、「こんな大人になりたい」と思わせてくれる存在なのではないでしょうか。

飯田校長、この度は貴重なお時間をいただき、誠にありがとうございました。

PBL(Project Based Learning / プロジェクト型学習)とは、実際の課題やテーマに基づいたプロジェクトに取り組むことで、学習者が主体的に学び、問題解決能力や協働スキル、クリティカルシンキングなどを育てる教育手法。





活躍している卒業生をご紹介します

YOSHIYUKI SUGITA

杉田 佳之 (普通科7期生) 株式会社スギタ

中学・高校時代の私は、要領と運だけで中の上の成績を保ち、特に努力もせず生きていました。けれど、受験では地道に頑張った人たちに敵わず、自分の甘さを痛感。その後一浪して大学に進学し、8年間、とにかく全力で遊び倒しました。眠くても、お金がなくても、呼ばれたらどこへでも行く毎日でした。当時のルールは「家族に迷惑をかけない」「友達を裏切らない」。そんな生活の中で、家族のような仲間や先輩ができました。

今では、家業である創業90年の傘メーカーを継ぎ、三代目代表として活動しています。私が開発した商品は、外務省・環境省・内閣府などから高く評価され、SDGs商品として日本で唯一の政府推奨商品にも選ばれました。また、医療・行政と連携し熱中症対策商品を開発したり、大阪万博の熱中症対策の相談も受けたりと、思いがけないほどアカデミックな世界へと歩みを進めています。

そんな転機のきっかけは、結婚と子どもの誕生。見える世界が変わり、守りたい未来ができたことが大きかったです。そしてその後押しをしてくれたのは、KONISHIKIさんや武田良太元総務大臣など、社会貢献を本気でしている先輩たちとの出会いでした。

「今だけ・お金だけ・自分だけ」という価値観が多い時代だからこそ、人とのつながりが大切です。

僕の好きな言葉を最後に――

「三流の選手はお金を残し、二流の選手は記録を残し、一流の選手は“人”を残す」

僕も、子どもたちを助けてくれる“人”を残せるような仕事を、これからもしていきたいと思っています。



TAKAHIRO KIJIMA

喜島 孝広 (普通科16期生) PERSOLKELLY中国 董事総経理

人生を変えた中国赴任



同窓生の皆様、你好！普通科16期生の喜島孝広と申します。PERSOLという総合人材サービス会社の中国事業を担当しています。中国の顧客（日系企業、外資系企業、中国系企業などさまざま）に対して中国人・日本人の正社員紹介や組織人事コンサルティングなどの事業を展開しております。私が担当する事業には400名ほどが従事しております。2008年に中国に渡って早いもので17年目。当時会社から中国赴任を言い渡されたときはパスポートすら持っていない海外経験ゼロの私がここまで長くいることになるとは思っていませんでした。赴任当時の中国は今とは比べものにならないくらいタフな環境でしたが、現地の文化に馴染もうと必死に中国語を勉強したことが今となってはとても良い思い出です。現在、会社での公用語は中国語であるため社内ではほぼ中国語を使い、またシンガポールにある海外事業本部とは英語を使って仕事をしています。

学生時代は柔道に打ち込んだ6年間でした。恩師と良い仲間に出会えたこと、試合が始まれば自分しか頼るものはないという精神力はここで培われたと思います。

泉ヶ丘校では勉強もそこそこに、仲間と遊んだ楽しい記憶しかありません。居眠りしたり、早弁したり…本当にのびのびとした青春時代を過ごさせていただきました。それでも最後の大学受験の年には特別補講などを聞いて頂き、きっちりと大学まで送り届けてくださった先生方には感謝してもしきれません。本当にありがとうございました。

昨今、日本と中国における民間の交流はますます活発になっていると感じます。私が中国で担当している事業を通じて、日中それぞれの企業が発展し、ひいてはよりよい日中関係の構築に貢献する。それが私の目標でありライフワークです。家族も含めすっかり中国に溶け込みましたしばらくは中国で頑張ろうと思っています。

ちなみに妻は学年が一つ上の国際科の同窓生です。自分自身の人生の伴侶と出会えたことがこの学校で得た最大の財産かもしれません(笑)。



趣味で中国の友人とトライアスロンをしています



家族みんな中国が大好きです

REIHO SAKURAI

櫻井 怜歩 (旧姓：西上) (28期生)

びあ株式会社 シティソリューション推進部

街に“体験”を仕掛けるUXプランナー

街の生態系を活発にする「街のUXプランナー」として、横浜の不動産デベロッパーを経て、現在はチケットでおなじみの「びあ株式会社」で働いています。エンタメ会社でなぜ街づくり？と思われるかもしれませんが、スポーツやライブなどをきっかけに街を訪れる人々が、そこでどんな体験ができるかを、ソフト面で企画・設計することが、街づくりの大切な一部だと考え、日々奮闘しています。

キャリアの原点は、帝泉在学中に語学留学したアメリカ・シアトルにあります。2011年、東日本大震災の時期、リーマンショック後で経済不安の続くアメリカで「活力のない街」の姿を体感しました。その後、大学時代に再訪したシアトルは、MicrosoftやAmazonの本社もある中で、スタートアップ企業が数多く生まれ、全米でもっとも成長する街へと変貌を遂げており、大きな衝撃を受けました。

泉北ニュータウンで育った私は、高齢化や空き家といった課題が身近にある中、都市の発展と衰退の構造に興味を持つようになり、「都市経済学」という分野を専門としました。その後、シェアオフィスの立ち上げや、横浜マリニタワの再生プロジェクトに関わり、地域の方々とともに「街を動かす」事業の経験を積みました。

帝泉時代は中学からやんちゃで、先生方には手を焼かせた思い出も…(本当にすみません!)。ですが、学内外にかかわらず、興味をもったことに全力で挑戦できる環境だったからこそ、私らしい独自のキャリアにつながっていると、とても感謝しています。



大学生時代。アメリカシアトルでの写真
文部科学省トビタテ！留学JAPAN2期の奨学生の仲間です



横浜DeNAベイスターズでの写真



今年、家族でシアトルへ行ってきました

恩師から Message



思い出

永田 博史 先生
(数学科)



青雲への執筆依頼があり、内容は私の現況や思い出等お任せ致しますとあり、もともと書くことは苦手なので現況と思い出を書いていきます。

平成28年3月に定年退職してからは、高2、高3の授業を担当し、高3は問題演習をしています。使用している問題集は毎年10パーセント以上問題を差し替えているので、休日は差し替えられた問題を解いたり、補習教材の用意をしたりしています。問題を解いていて、以前解いた問題がもっと簡単に解けることに気が付くこともよくあります。授業では、自然な解き方をするようにとよく生徒に言っていました。問題をよく分析して、解き方の説明ができるようになって欲しいという意味です。偶然に解けた訳ではないということです。ある日、生徒が「この解き方は(偶然では無く)自然ですか」と質問してくれたのには感激しました。自然な解き方は個人の持っている力で異なります。以前より簡単に解けることに気が付くとは、私の力不足を知ったことです。

授業では、「欲しかったら作れ」とも言いました。数学では、借金

$$x^2 + \frac{4}{x+1} = x^2 + 1 + \frac{4}{x+1} - 1 \geq 2\sqrt{(x+1) \cdot \frac{4}{x+1}} - 1 = 4 - 1 = 3$$

「欲しかったら作れ」を座右の銘にしている生徒もいました。数学IIIの微分積分の授業では、「大胆かつ繊細に」と言う場面もありました。個人ロッカーの扉の裏に「大胆かつ繊細に」と書いた紙を貼っている生徒もいました。

数学は苦手な数学が嫌いな生徒が、センター試験を受けた直後に解けなかった問題を質問に来ました。質問に答えてあげると、理解できたのでしょう、「これで数学ともおさらばできます」と言いました。学問に対する姿勢の良い生徒だと感じました。卒業するとき、私に「いつまでも数学ラブでいてください」とも言ってくれました。

最近、補習で「邪魔者は消せ、ただし、合法的に」を言いました。ある生徒が、昨日の模試で「邪魔者は消せ」で解けました、と言ってくれました。これは、「欲しかったら作れ」と対になっているかもしれません。

40年も教えていると、思い出もまだまだありますが字数の制約もあり、この辺りで終わります。こんな私でも数学を教え続けることができたのも卒業生の皆さんのおかげと感謝しています。卒業生の皆さんのご活躍をお祈りしています。



「気づき」 日々新たに

西元 孝 先生
(社会科)



卒業生の皆さん、お久しぶりです。
私は、創立3年目にこの学校に来て、今年で41年目を迎えます。実は3年前に堺から池田に転居した際に完全リタイアを考えていたのですが、非常勤講師のお話を頂き、今年も週5日・片道2時間かけて学校に通い、日本史の授業を担当しています。思いもかけず長い日々をこの学校で過ごせたのは、生徒・卒業生の皆さん、そして良き先輩・同僚のおかげだと、今になってしみじみ思います。以前の『青雲』にも書かせていただいたことですが、開校間もない頃の学校は30代・40代の先生方が中心で、ときに空回りするほどのスバルタの熱意と、一方で妙にのんびりとしたおらかさが同居する面白い空間でした。その頃の生徒諸君もバワフルで、令和の今なら「ふてほど」と言われるようなシーンも少なからずありました。

今、長い教師生活を振り返ると、思い出す光景があります。それはいつのことであったかは忘れましたが、教室でテスト監督をしていた時のことです。問題に取り組む生徒たちのずらりと並ぶ頭を眺めながら、まったく当たり前のことですが、この生徒たち一人ひとりには親がいて、親御さんたちはきっと我が子をかけがえのない、いとおしい、大切な存在と思っているんだろうな、ということに思い至りました。親御さんたちが我が子にかつて抱いた「期待」と、今現在の「現実」を認識したとき、親御さんの中には我々教師にしばしば「愚痴」をこぼす方もおられました。そのとき我々教師も、ついその「愚痴」に同調してしまっていたように思います。親御さんの我が子へのいとおしさや本当の気持ちはそれほど変わっていないのに、我々教師が親御さんの本当の気持ちに気づかないまま安易に「愚痴」に乗っかって、肝心の子どもたち(生徒)がおかれた立場に近づく努力を怠っていたように思います。

ふだんは2階の教科室で仕事をしていて、たまに1階の職員室に行くと見知らぬ顔の若い先生方(とくに女性)が多くなり、正直戸惑っています。一方で、古希を過ぎても頑張っておられる先輩の先生方もいらっしゃいます。それら先輩の先生方の姿を励みに、先程の「気づき」を忘れず、もうしばらく教師生活を続けていこうと考えています。

卒業生の皆さんも、健康に留意され、ますますのご発展・ご活躍を祈っています。



ふるさと納税で私立高校を応援！ 母校応援ふるさと納税制度がスタートします

「大阪教育ゆめ基金」へいただいたご寄付を、大阪府内の私立高校等の教育環境の整備、特色・魅力ある教育活動、スポーツ・文化活動を支援するために活用します。



ポイント
1

母校に限らず応援したい私立高校等を指定して
寄附ができます。

対象校はこちら▶



ポイント
2

ふるさと納税制度を活用して税額が軽減できます。

寄附の流れ(オンライン申請の場合)

申込み	入金	受領証明書等発行	控除手続
大阪教育ゆめ基金 ホームページより お申込みください。 	クレジット払い又は 金融機関振込をご利用 いただけます。	大阪府から税額控除手続きに 必要な受領証明書等を送付 します。	所轄の税務署へ確定申告を 行ってください。ワンストップ 特例も利用できます。

郵送、FAX による申込みを希望される場合は、問い合わせ先までご連絡ください。

ご注意 ご寄附は、地方自治法第 96 条第1項第9号に定める「負担付きの寄附」(寄附の条件等として府が法的義務を負い、その不履行の際には当該寄附の解除など寄附の効果に影響を与えるもの)としてではなく、「指定寄附」(寄附者が自らの寄附金について何らかの使途を希望し、府としてこれを尊重しつつ、各分野への配分を判断・活用させていただくもの)としてお受けします。 寄附金の一部を事務費等に充当します。 寄附の返礼品はありません。

お問い合わせ

大阪府 教育庁 私学課 TEL.06-6944-6956

URL <https://www.pref.osaka.lg.jp/shigaku/bokououen/index.html>

お問い合わせ
フォーム▶



Club Activity

Report 2025

部活動報告

中高女子バスケットボール部

現在、女子バスケットボール部は中学生 13 名、高校生 16 名の計 29 名で活動しています。主に練習では体育館での技術練習と屋外での体力を向上させるトレーニングを行っています。週末や長期休みには他校との練習試合を行っています。

高校生の昨年度の戦績は、大阪総体（インターハイ予選）と大阪私学大会で 2 回戦を突破し、大阪選手権大会（ウィンターカップ予選）では 3 回戦を突破しました。また U18 リーグ（3 部）の予選リーグでグループを 1 位通過し、上位リーグでは 2 位となりました。冬に行われた新人大会では中央大会出場決定戦に進むことができました。残念ながら 1 勝 1 敗で中央大会に進むことはできませんでしたが、日頃の成果を出すことができた 1 年となりました。中学生は泉北地区春季大会 1 回戦突破、大阪選手権泉北地区予選では 2 回戦を突破しました。中学生も高校生も勝ち進む試合が増えてきています。

次に女子バスケットボール部の最大の魅力は、仲間との連携で困難を乗り越えられること、そして助け合えるところだと思います。チームスポーツとしての面白さや、誰もが楽しめるスポーツということも魅力です。また、バスケットボールは体格や経験が違っても、練習や工夫次第で自分の強みを見つけ、それを活かすことができます。

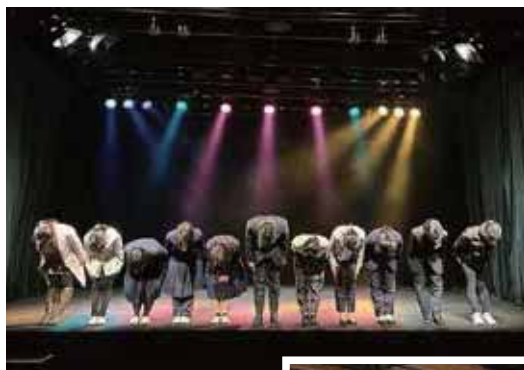
最後に、今後の目標は中学生高校生それぞれが 1 試合でも多く勝つことです。高校生の夏に私学大会、種目別大会、リーグ戦、そして秋ごろにはウィンターカップの予選を、中学生は大阪選手権大会を終え、夏の終わりに中学 3 年生が引退という区切りとなる堺市総合体育大会が控えています。それぞれの試合で自分たちが全力でプレーをし、悔いのないような試合にするために、今後とも中学、高校関係なく高め合いながら練習に励んでいきたいと思っています。



高校 2 年 1 組 田中 萌々花
高校 2 年 3 組 一ノ瀬 柚紗
高校 2 年 7 組 下田 千晴
高校 2 年 8 組 山岸 蒼

演劇部

高校 3 年 8 組 松本 采子



私たち演劇部は、27 人で楽しく活動しています。個性豊かなメンバーで、とても賑やかです。学年は違えどお互い仲が良く、温かな雰囲気の中で作品創りに取り組んでいます。その中で、顧問の羽室先生やコーチが数え切れないほどのたくさんの方を教えて下さり、そのおかげで昨年度高校生が参加した地区大会では優秀賞、舞台美術賞、個人演技賞を受賞することができました。

私自身演劇部に入るまで、そこまで積極的に何かに挑戦するというタイプではありませんでした。しかし、演劇部に入って役者はもちろん、音響にも携わったり、校内や外部での公演を通してたくさんの方と関わったりするようになって、自然と積極的に行動できるようになったような気がします。部員や顧問の先生はもちろん、普段演劇部を応援してくださっている友達や先生方の温かい人柄に触れていくうちに、「自分ができることを精一杯頑張りたい」、「もっと色々なことに挑戦してみたい」という思いがどんどん強くなっていきました。その経験は演劇部のみならず、学校のホームページにある泉ヶ丘生ブログの記事の執筆や学級委員活動、普段の勉強といった日常生活にも生きてきているのを、最近実感しています。公演の本番が近くなると、不安でいっぱいになったり悩んだりすることも多かったのですが、どの公演も最後までやり遂げることができたこと、これは私の大きな自信にも繋がっています。

演劇部で過ごした時間は私にとってかけがえのない思い出の一つです。そしてたくさんの方の経験や学びを得られた場所です。高校 3 年生である私は卒部となりますが、演劇部のこの温かさがいつまでも続いてほしいなと思います。これからも帝塚山学院泉ヶ丘中学校・高等学校演劇部の活動にご期待ください！

幹事's

同窓生探訪

Dousousei Tanbo

循環器内科医

片山 恒
HISASHI KATAYAMA

[普通科 19 期生]

取材：大嶋菜穂子（国際科 3 期生）

KATAYAMA CLINIC
内科・循環器内科『かたやま内科クリニック』

昨年、大東市諸福に内科・循環器内科『かたやま内科クリニック』を開業された片山 恒さんを訪ねました。

医師一家に育ち、「特別なきっかけはなかったけれど、医者という職業が特別ではなく、身近だったから」という自然な流れで医師を志したそうです。大学は金沢医科大学へ。一浪時代も含め勉強は得意じゃなかったと笑いますが、その分「偉そうじゃない、患者さんに寄り添う医者でいたい」という信条が生まれたといいます。

病院勤務を経て、開業を決意したのは、「もっと身近な場所で患者さんと長く関わりたい」との思いから。勤務医時代、治療が一段落した患者が日常生活に戻る際の不安や、継続的なフォローの必要性を感じており、病気を治すだけでなく、その後の生活を支えることこそが医師の役割という信念が地域密着型クリニックという形になったのです。

開業準備には、家族や友人、同窓生の協力が大きかったそうです。物件探しや内装、医療機器の手配まで、多くの人の助けがあって形になりました。偶然の出会いやご縁が重なり、「とりあえずやってみる」という行動力が背中を押しました。計画が完璧じゃなくてもまず動く。そうすれば人も情報も集まってくると、とてもご縁を大切にされています。

開業から 1 年が経ち、当初から構想していたという心臓リハビリにも今後力を入れていくそうです。心臓手術やカテーテル治療を終えた患者さんが、健康で長く過ごせるようサポートする取り組みは、地域ではまだ珍しく、大きなやりがいを感じているそうです。

診療スタイルは「患者ファースト」。処方や検査を押し付けず、十分に説明して納得してもらってから進めます。医療も接客と同じ。弱っている人が安心できる関係を築くことが大切だと、患者さんの希望

に合わせて処方間隔も柔軟に対応するなど、患者に寄り添った診療を心がけています。

片山さんの趣味は写真とゴルフ。ゴルフは最近あまりされていないようですが、写真は続けていて、イベントや日常の景色をカメラに収めているそうです。写真への思いは強く、ご自身の結婚式の写真も全部自分で撮影されたそう！そういうこだわりがとても素敵だなと思いました。「写真はいいです!」と、いつか個展を開けたらとの夢も持ちです。

「患者さんに信頼してもらい、地域に根ざした診療を続けたい。思い立ったらまず行動、それが自分らしさ」と、柔らかな笑顔で話す片山さん。前向きなその言葉にこちらまで背中を押されたような気持ちになりました。

地域の頼れる存在としてこれからも新しい挑戦を続けてください！

余談ですが

取材に向かうタクシーの運転手さんに行き先を告げると、「新しくできたクリニックやね」と、連れて行ってくれました。

取材を終え、駅へ向かったタクシーの運転手さんからは、「何度か患者さんを送ったことがあるけど、ここの先生評判いいよ!」と聞き、片山さんの地域での信頼度を改めて感じました。

かたやま内科クリニック
〒574-0044
大阪府大東市諸福3丁目1-21
<https://kata-cl.com/>



HP

「第12回」

帝塚山学院泉ヶ丘同窓会 総会・懇親会レポート



11月10日(日)午前11時～午後2時 ホテル日航大阪5階「鶴」

・参加者131名(恩師・来賓31名)

二次会 午後2時30分～午後4時30分 ホテル日航大阪4階「孔雀」・参加者58名

開会に先立ち、管弦楽部の演奏が行われました。総勢49名による「アルルの女よりファランドール」「パイレーツ・オブ・カリビアン」院歌・祝歌・泉ヶ丘賛歌」は迫力があり、会場全体が引き込まれる素晴らしい演奏でした。

続いて田中会長のご挨拶、野村理事長・飯田校長からのご報告があり、学院および泉ヶ丘校の近況をご紹介いただきました。その後の総会議事では、事業報告や役員紹介が行われました。

懇親会は徳留副校長の乾杯のご発声で開始され、2年ぶりの再会に旧交を温

める時間となりました。会話が弾み、会場は終始和やかな雰囲気になりました。

終了後の二次会にも58名が参加され、最後まで盛況のうちに幕を閉じました。

今回の開催にあたり、司会進行を務めてくださった出原さん(普通科24期生)、カメラマンを務めてくださった細川さん(普通科3期生)をはじめ、幹事・役員・事務局の皆様により感謝申し上げます。

総会委員会 委員長 辻 英宜(普通科12期生)

第12回 帝塚山学院泉ヶ丘同窓会総会・懇親会



第3回 帝塚山学院泉ヶ丘東京同窓会報告



令和6(2024)年11月23日(土)東京都目黒区のホテル雅叙園東京にて、第3回帝塚山学院泉ヶ丘東京同窓会を開催いたしました。2017年の第2回から7年ぶりの開催となり、同窓生55名、来賓・恩師5名の計60名の方に参加していただきました。

普21期松田さんの司会進行で普3期木村さんのご挨拶から始まりました。会の冒頭、大阪からお越しいただいた谷先生、木内先生の2名の恩師によるご挨拶やスピーチ、また泉ヶ丘校長の飯田先生、副教頭の徳留先生、三村先生、松下先生からビデオメッセージをいただきました。恩師からのスピーチやメッセージで学生当時の記憶を懐かしく思い出しました。

合間で同窓生の「つながり」を深めるテーマ別のトークイベントを行い、共通の話題や趣味などの会話に花が咲き大盛況でした。そして、メインイベントの豪華景品

をかけた泉ヶ丘校クイズを行い、参加者一人ひとりが当時の記憶を呼び起こしながら懸命に回答し、全員で大いに盛り上がりました。3時間という限られた時間ではございましたが、参加者の方々に本当に楽しい時間を過ごしていただけたかと思ひます。

改めて東京同窓会の開催にあたり、たくさんの同窓生の方たちにご参加いただきましたこと、事務局をはじめ同窓会役員、幹事の皆さま方のご協力に、この場をお借りしてお礼を申し上げます。東京委員会メンバーを中心にこの繋がりを大切にしていきたいと思っておりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

会員交流会 副委員長 亀井 衛馬(普通科15期生)





普通科5期生・国際科4期生 同窓会 相澤 輝代(国際科4期生)

令和6年11月10日(日)ホテル日航大阪にて開催された、第12回泉ヶ丘同窓会総会のテーブル二卓をご用意して頂き、計15名参加のプチ同窓会を開催いたしました。

初めての試みでしたが、先生方や懐かしい先輩方なども沢山身近におられ、話に盛り上がっておられました。また、当日にはお誕生日の方がいらしゃったので、サプライズが大好きな私はお二人に喜んでもらえたので大成功でした!

8年ぶりの同窓会だったので、次回は、還暦祝い??したいですね。

次回は、大文字でお葉書いたしますね(笑)



普通科8期生・国際科7期生 同窓会 前田 宏樹(普通科8期生)

令和7(2025)年8月14日スイスホテル南海大阪にて、普通科8期・国際科7期の同窓会を開催しました。50名ほどの卒業生に加え、在学当時担任であった脇田先生、西元先生、谷先生、横川先生、岡憲司先生もご参加してください、11年ぶりの同窓会を盛大に行うことができました。

卒業して早30年以上が過ぎましたが、当時の担任の先生方との懐かしい思い出話、近況報告、今後の展望など様々な話は尽きることなく、2時間という時間はあっという間に過ぎてしまいました。以前、11年前の同窓会を機に連絡を取り合うようになったという話を聞きました。今回の同窓会でもそのような繋がりが増えることを願っています。

最後に、今回の同窓会開催にあたり、参加して下さった先生方、同窓生の皆さん、本当にありがとうございました。今回出席できなかった同窓生の皆さん、次回は是非ご参加ください。お待ちしております。



普通科18期生同窓会レポート 鎌倉 司(普通科18期生)

2024年12月下旬、中学3年間の担任をしていただいた登先生とお会いした際、「君たちの高校3年間の担任をした森先生が古希(70歳)を迎える。自分も会えるうちに生徒たちに会っておきたい。会を催してくれないか。」と提案いただいたのをきっかけに、2025年5月17日(土)に普通科18期の同窓会を心斎橋のクロスホテルにて約10年ぶりに催行いたしました。

森先生、登先生のほか、飯田現校長先生にもゲスト参加いただきました。働き盛りの年頃であることや遠方居住の同窓生も多いことから、参加者は20名ほどでしたが、近況報告では「事業で独立しました」や「子が中学受験を迎えます」など各自年相応の報告を行い、先生方に元気な姿を見せることができました。

その後、先生方も参加した2次会、生徒のみの3次会と遅い時間帯まで賑やかに過ごすことができました。LINEグループも作成できたので次は10年後と言わずまた近いうちに同窓会を催したいと考えております。



第38期生 成人の集い

小細 春睦(38期生)

先日、第38期生成人の集いに参加してきました。

久しぶりに再会した友達や先生方と語り合っていく中で、当時の授業中や休み時間の何気ない会話や、部活動に汗を流した日々、体育祭や文化祭の熱気、またやんちゃして怒られたことまで、たくさんの思い出が昨日の日のように感じました。6年間共に過ごした仲間達は今ではそれぞれの夢や目標に向かって邁進し、そのことに嬉しさを感じながらもお互いの成長に少し寂しさも感じました。また、お世話になった先生方に私たちの成長した姿を見せることができよかったです。また、先生方は変わらない温かさで私達を迎えてくださったことに胸が熱くなりました。

私達は二十歳を迎え、これからは様々な自由と責任と共に社会で生きていかなければなりません。しかし、今回の集いで素晴らしい仲間達が一緒に戦っており、また疲れた時には暖かく迎えてくださる先生方の存在を再確認できました。これからも帝塚山学院泉ヶ丘の仲間との絆を大事にしつつ、それぞれの道で精一杯頑張っていければと思います。



2024年度 東京同窓会総会報告

2024年9月16日、帝塚山学院東京同窓会が卒業生の経営される『レストラン・ベニーレベニーレ』にて開催されました。開放的な明るい会場で、本格イタリアンのフルコースを堪能し、参加された皆様には大変喜んでいただくことができました。恩師の市田先生にもお越し頂き、当時のクラスメイトは懐かしい話に花が咲きました。また「MADAM e DO」のコーラスで校歌・祝歌を斉唱し、母校の風景を思い出しながら大切な時間を過ごしました。

東京同窓会は同窓会世話役の継承が困難な状況から、その長い歴史を途絶えさせる事なく出来る限り存続していくため新しい運営方法に転換して活動してまいります。今後の開催案内は各同窓会会誌・ホームページ・Eメールに限定いたします。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



2025年度 帝塚山学院 東京同窓会総会のお知らせ

2025年9月15日(月・祝)12:30開宴
場所 / マリーグラン赤坂
東京都港区赤坂2-14-5 Daiwa赤坂ビル
TEL.0120-262-175
会費:5,000円

参加申込み方法

お名前(旧姓)
会員番号(または卒業年が生まれ年)
連絡先

上記3点を明記のうえ、2025年度東京同窓会総会の連絡先メールアドレスまでお送りください。または、お電話でお申込みください

連絡先メールアドレス・電話
tezukayamatokyo@gmail.com
TEL.090-8160-3900

《お知らせ》

今後の東京同窓会総会の日程や詳細につきましては、帝塚山同窓会HP内「東京同窓会」と各同窓会会誌よりご案内させていただきます。諸事情によりハガキでのご案内はいたしません。皆様お誘い合わせの上、たくさんの方のご参加をお待ちしております。

帝塚山同窓会ホームページ内「東京同窓会」



<https://www.tezukayama-gr.jp/category/tokyo-alumni>

同窓会



2025年度 同窓会幹事総会の報告

副会長 島田裕典(普通科13期生)

令和7年6月21日(土)午後2時30分より、泉ヶ丘校の文化ホールにて年に一度の幹事総会が行われました。

普通科1期生から昨年度の卒業生である40期生まで総勢41名の幹事が集まりました。お忙しい中、飯田校長・徳留副校長・金教頭補佐・森事務長にもご臨席賜りました。

飯田校長からは、泉ヶ丘校の近況報告などがありました。中学・高校の入学者数の飛躍的増加、並びに大学進学実績における目覚ましい成果など、母校の発展に卒業生として心から誇らしさを感じることができました。

続いて、各委員より活動報告、決算および会計監査報告がなされ、本年度の事業計画案が提案・承認されました。

幹事総会後の懇親会は、40期の新任幹事の皆様の歓迎会を兼ねて今年は「かごの屋」で盛大に行われました。17名の新任幹事に参加いただき、世代を超えた活発な交流が広がる、心温まる時間となりました。

同窓会活動は、若い力の参画によってさらに輝きを増します。ご興味をお持ちの方がいらっしゃいましたら、積極的にご参加いただけますと幸いに存じます。



令和7(2025)年度 会計報告

収入の部 (単位:円)	
会費収入	6,460,000
総会会費収入	1,034,000
総会関連費引当金取崩額	300,000
泉ヶ丘東京同窓会会費収入	598,500
泉ヶ丘東京同窓会関連費引当金取崩額	1,000,000
寄付金収入	510,000
受取利息	14,090
雑収入	1,010
合 計	9,917,600

支出の部 (単位:円)	
連絡協議会分担金	130,600
贈答費	527,100
通信費	204,574
帝塚山東京同窓会関連費	10,000
会誌費	1,372,034
活動費	208,008
人件費	2,022,797
退職慰勞引当繰入額	100,000
広報費	43,574
泉ヶ丘祭関連費	93,086
会員交流委員会関連費	141,988
総会関連費	2,037,499
総会関連費引当金繰入額	0
泉ヶ丘東京同窓会関連費	1,551,841
泉ヶ丘東京同窓会関連費引当金繰入額	0
備品消耗品費	154,583
会費返金(転退学者)	280,000
学校協力費引当金繰入額	200,000
雑費	27,060
予備費	0
合 計	9,104,744

委員会報告

職業探究



令和6年11月9日(土)の3・4限目に、恒例の「職業探究」を実施しました。

中学3年生を対象に、ZOOMで同窓生3名と教室を繋いで行われ、泉ヶ丘時代の思い出や、どのように受験勉強をしていたか、大学・学部を選んだ理由を話していただきました。もちろんお仕事を選んだ理由や、そのお仕事のやり甲斐などにも触れた内容となりました。

学生からは年収は?なんてドキッとする質問などもあり、とても興味深く聞いてもらえた時間になったと思います。まだまだ何者にもなれる

可能性いっぱいの後輩に、先輩からメッセージを伝えるというこの同窓会企画、少なからずの泉ヶ丘の誇りをもって運営しています。

「職業探究」は今年度から、これまでの年1回から年2回に拡大します。令和7年3月には第40回の卒業式が執り行われ、同窓生は10,000人を超えています。是非自薦他薦のご連絡をお待ちしております。

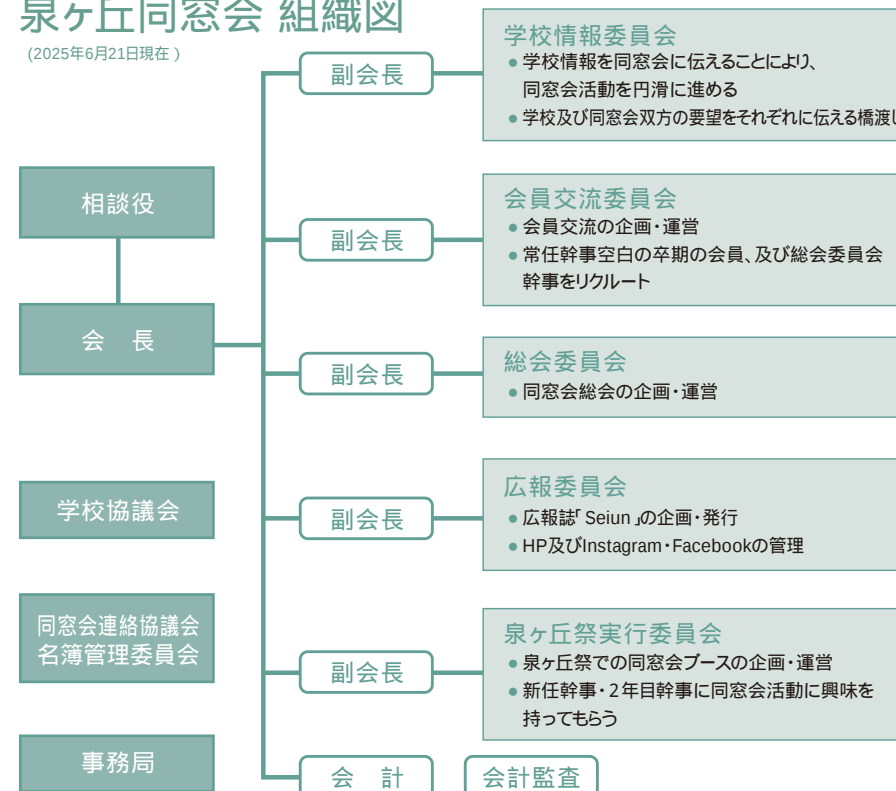
最後になりましたが、ご協力いただきました普通科3期(男性)、普通科8期(男性)、25期(男性)の皆様、真誠にありがとうございました!

学校情報委員会 副委員長 菊之井秀年(普通科3期生)



2025年度 泉ヶ丘同窓会 組織図

(2025年6月21日現在)



役 職	氏 名	卒 回
会 長	田中 尚寛	普5
副 会 長	奥村 幸恵	際2
	井上 さくら	際5
	垣内 真里	際6
	島田 裕典	普13
	岸本 行正	普13
会 計	得田知栄子	際3
	稲次 啓介	普10
監 査	平井 啓一	普2
	比奈 一郎	普7
相 談 役	松本 隆司	普1
	山根 敬介	普4

委員会

学校情報委員会	委員 長	井上 淳	普9
	副委員長	菊之井秀年	普3
	副委員長	仙波 真理	際5
	副委員長	斧山 紀子	際9
会員交流委員会	委員 長	鎌倉 司	普18
	副委員長	船中 大輔	普8
	副委員長	亀井 衛馬	普15
総会委員会	委員 長	辻 英宜	普12
	副委員長	堀田 将矢	普12
広報委員会	委員 長	大嶋菜穂子	際3
	副委員長	佐用木綿子	際3
泉ヶ丘祭実行委員会	委員 長	安阪 雄大	30期
	副委員長	奥野 佑樹	27期
事務局員		大野 晴子	際1
		相澤 輝代	際4
		阿部 聖子	際6

運営費の寄付のお願い

日頃運営費節減に努めているものの、卒業生数が増加していることによる固定経費（会誌費、通信費など）の増加、泉ヶ丘同窓会の活動の活性化による負担増大により、年間の収支が悪化傾向にあります。この状況を少しでも改善するために、皆様から運営費の寄付（2,000円）をお願いしたいと存じます。ご協力いただけるのでございましたら、同封の振替用紙（36期までの卒業生の皆様に同封）で郵便局より泉ヶ丘同窓会宛にご送金をお願いいたします。寄付をいただいた方のお名前を次号の青雲に掲載させていただきます。

振込先（ネット振込）

口座名	帝塚山学院泉ヶ丘同窓会	
振込先	口座記号番号	一口
ゆうちょ銀行から	00940-8-280549	2,000円
他銀行から	ゆうちょ銀行 当座 店名 099支店 口座 0280549	

名前・住所変更等がある場合、振込用紙（同封）の備考欄にご記入ください。

多数の方々にご寄付をいただきました。
泉ヶ丘同窓会へのご支援、ありがとうございます。

卒期	名 前	卒期	名 前	卒期	名 前
普 1	岡野 広和	際 4	相澤 輝代	普 10	山崎 賢
普 1	小西 英夫	際 4	須崎 知香	普 11	山田 真善
普 1	角掛 潤一	普 6	伊藤 芳晃	普 12	石田 琢磨
普 1	関戸 美照	普 6	乾 光利	普 12	和泉 大介
普 1	西上 孔雄	普 6	内田 仁生	普 12	植野 洋介
普 1	松本 隆司	普 6	片上 清勝	普 12	松浦 喜貴
普 2	平井 啓一	普 6	西田 大蔵	普 13	川田 徳宏
普 2	三浦 孝司	際 5	仙波 真理	普 13	岸本 行正
際 1	井上 節子	際 5	西村香奈枝	普 13	島田 裕典
際 1	大野 晴子	際 5	芳野 久美子	普 13	東條 健
際 1	中井公美子	普 7	江富 朋彦	普 14	飯坂 元哉
際 1	南 満寿美	普 7	菊月 義哲	普 15	辻 健司朗
普 3	青柳 文浩	普 7	阪口 正則	普 18	山岸晃太郎
普 3	上田 和毅	普 7	高井 宏	普 19	稲田 雄大
普 3	岡川 真三	普 7	中井 紀博	普 19	酒谷 貴史
普 3	菊之井秀年	普 7	星野 快	普 21	富田 涼
普 3	木村 真吾	際 6	阿部 聖子	24 期	赤木 寛明
普 3	細川 博	際 6	大島 智子	25 期	齋藤 功一
際 2	飯島 克子	際 6	土肥奈央子	25 期	西脇 大樹
際 2	奥村 幸恵	際 6	村田 綾子	26 期	竹田 和輝
普 4	本田 康文	普 8	岩間 一	27 期	泉森 勇也
普 4	松山 陽一	普 8	森田 将史	28 期	小嶋 見優
普 4	山根 敬介	際 7	相川 順子	28 期	西脇 葵
普 4	山本 淳史	際 7	内田 直子	31 期	河波 志穂
普 4	芳野 純一	際 7	三枚 聖子	32 期	関戸 紀和
際 3	稲垣 周子	際 7	森田 聡子	32 期	中本 貴文
際 3	大嶋菜穂子	普 9	大槻 充紀	33 期	出水 直志
際 3	太田 純子	普 9	岡本 浩一	34 期	関戸 理和
普 5	阪井 信也	普 9	佐野 芳尚	35 期	安部 凛太郎
普 5	田中 尚寛	際 8	高地佐知子	35 期	高島 愛生
普 5	宮下 健一	普 10	稲次 啓介		
普 5	森 義治	普 10	西田 宜弘		

泉ヶ丘祭

THEクイズアタック!

え?マジ知らんの?先生も答えられないクイズ!

豪華景品

IZUMIGAOKA BEAR

泉ヶ丘ベア

9/20 sat

2025

[時間] 10:00 ~ 14:30

[場所] B棟地下 グループ6、グループ7

同窓会カフェ

美味しいドリンク
準備して待ってます!
ぜひ涼みに来てください♪

帝塚山学院
泉ヶ丘同窓会

公式
Instagram

Follow Us!

#帝塚山学院泉ヶ丘
#泉ヶ丘同窓会
#帝泉

帝塚山学院泉ヶ丘同窓会

公式 Facebook

同窓会活動や個々の委員会活動の最新情報をお知らせしています。

参加方法

帝塚山学院泉ヶ丘同窓会 で検索

参加 ボタンをクリック!
または、QRコードから

東京を拠点に活動している皆様へ
帝塚山学院泉ヶ丘同窓会【東京】の
プライベートグループにて交流しませんか?

参加方法

帝塚山学院泉ヶ丘同窓会 東京 で検索

参加 ボタンをクリック!
または、QRコードから

ご参加にあたってプロフィールの学歴欄に「帝塚山学院泉ヶ丘」の記載をお願いします。

会長のご挨拶



帝塚山学院泉ヶ丘同窓会
会長 田中 尚寛
(普通科5期生)

同窓生の皆様、平素から同窓会の運営に多大なるご厚情をいただき誠に有難うございます。
2025年度も同窓会会長「続投」を仰せつかりました普通科5期（1989年卒業）の田中尚寛です。
昨年度には卒業生累計数が1万人を超え、全国のみならず世界中で同窓生が活躍しています。
同窓会では「職業探求」と銘打って、在校生向けに卒業生がキャリアについて話をする機会を1年に一度を目安に設けています。オンラインを活用し全国から、また海外からもお話をしてもらっています。今の仕事内容の説明から始まり、なぜその仕事に就いたか、今どのような苦労をしているか、学生時代にしておいたほうがよいこと、私生活とのバランスなどなど。法曹界に興味を持っている在校生向けに弁護士の卒業生がかなり専門的な話をする回もありました。その際、在校生より「お給料はいくらですか」との質問があり、返答に窮する微笑ましい場面もありました。
この「職業探求」に見られるような母校を中心に人と人が触れ合って高めあっていくことができる機会を提供することが同窓会の一丁目一番地の使命として運営を進めています。
仕事上の人とのつながり以外に「損得抜き」に触れ合いが持てることは本当に大きな財産です。
“It is not what you know, but Who you Know”とは真実です。
同窓会では総会を始め、このSeiunやSNSを活用した同窓生の触れ合いの場を提供しております。みなさん!どんどん活用してください。
「使わなそんですよ 笑!!」

広報委員会より お願い

広報委員会では『Seiun』の「輝く人」および「同窓生探訪」コーナーに出ていただける方を随時募集しています。
毎回、様々な分野で活躍されている卒業生を紹介していますが、同級生や同窓生の中で「この人は!」と思う方がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介ください。
ご紹介いただける方がいらっしゃいましたら、同窓会事務局までご連絡をお願いいたします。
自薦他薦は問いません!
ご協力いただけると幸いです。よろしく願いいたします。

訃報

お悔やみ申し上げます

社会科教諭 井上 勝博元先生
数学科教諭 宇佐美文男元先生
元 教 頭 大山 義治元先生
国際科(7期生) ベネマ陽子様
(旧姓 今井)

編集後記



広報委員長
大嶋 菜穂子
(国際科3期生)

今回も、多くの同窓生の皆さまにご協力いただき、おかげさまで『Seiun』を発行することができました。心より感謝申し上げます。
巻頭インタビューでは飯田校長にお話を伺い、泉ヶ丘校の現在の姿や、これからの方向性について知ることができました。教育環境や活動の幅が広がり、生徒たちがより主体的に学び成長できる学校へと変化している様子を、時代の流れと可能性を感じました。
昨年の『Seiun』の表紙写真では建設中だった大阪・関西万博が、今まさに開催中!大阪は活気に包まれています。同窓会も未来へ向け、皆さまと共に歩みを進めていきたいと思います。



アドミッションセンター

令和8(2026)年度 入試のお知らせ

中高6年 一貫コース

Ⅱ類選抜コース

Ⅱ類コース

Ⅰ類コース

【中学入試関連行事】※詳細はHPでご確認ください。

イベント	入試説明会	プレテスト	プレテスト 個別懇談会
日程	9月6日(土) 9月13日(土)	11月3日(月・祝)	11月15日(土)
備考	児童・保護者対象 【事前要予約】	小学6年生対象 【事前要予約】 保護者対象の入試 説明会も同時開催	プレテスト参加者対象 【事前要予約】

高校 3年コース

S特進コース

特進コース

【高校入試関連行事】※詳細はHPでご確認ください。

イベント	学校説明会	オープン キャンパス	入試説明会
日程	9月7日(日)	10月11日(土) 10月18日(土)	11月29日(土) 12月6日(土) 12月13日(土)
備考	生徒・保護者対象 【事前要予約】	生徒・保護者対象 【事前要予約】	生徒・保護者対象 【事前要予約】

受験生用 LINE@公式アカウント登録受付中!

入試に関する最新情報を 手軽に素早くチェックできます!

友だち追加していただくと説明会やイベントなど入試に関する最新情報をお届けします。メニューバーからホームページの閲覧やイベント申し込みページへのアクセスも手軽にできます。ぜひ、ご登録ください!

LINEの「友だち追加」から、ID検索するかQRコードをスキャンして登録してください▶



中学・高校入試の
Web出願

中学
入試情報



@376bxorx



入試イベントの
申し込み

高校
入試情報



@526fzmvw



Instagram公式アカウント

公式アカウントを 開設しました。

帝泉での生徒たちの日常を発信する《帝泉snap》やホームページでお届けしきれない「帝泉」の躍動感をお届けします!



YouTubeの公式チャンネル

公式チャンネルを 開設しました。

クラブ活動や学校行事、日常の学校生活など、「帝泉」の魅力発信動画を随時お届けしていきます。

学校案内や募集要項などの資料請求、入試に関するお問い合わせは泉ヶ丘校アドミッションセンターまでお願いいたします。連絡先は下記の通りです。

アドミッションセンター

TEL.072-293-1416 FAX.072-293-1417 E-mail nyusi@tezuka-i-h.jp

Host Family ボランティアとして ホストファミリーに なっていただけませんか。



ホストファミリーに
お願いすること

是非ボランティアとして、留学生の受け入れのご協力をお願いいたします。「英語が話せない」「家が広くない」「同世代の子供がいらない」といった心配はありません。留学生を預かることはグローバルを体感するよい機会です。第2のふるさとで父親、母親となり、本当に末永くお付き合いをする関係となる可能性もあります。期間としては、10ヶ月・5ヶ月が主になりますが、それ以下の期間でも構いません。

ご興味のあるご家庭は
国際教養部：辻、蔽木まで
お申し出ください。

メールアドレス
tsuji-k@tezuka-i-h.jp
yabuki-t@tezuka-i-h.jp
電話：072-293-1221

- ★寝る場所：個室である必要はありません。同性のお子様との相部屋も可能です。
- ★食事の提供：学校のある日は朝夜2食(昼食は留学生負担)、休日は3食。
- ★交通費、通信費、医療費、その他個人的な出費は全て留学生の自己負担となります。
- ★ご家庭では英語を話す必要はありません。留学生になるべく日本語を話させてください。
- ★留学生はお客さまではありません。お手伝いをさせるなど、ご家族の一員として扱ってください。
- ★安心して留学生と生活ができるように、各留学生には担当のカウンセラーがつき、ホストファミリーと留学生のご相談に随時対応させていただきます。